

日本糖尿病理学療法学会の活動紹介

日本糖尿病理学療法学会
常任運営幹事 片岡弘明
部員 鈴木光司

1. 日本糖尿病理学療法学会について

[日本糖尿病理学療法学会とは]

日本糖尿病理学療法学会では、学会活動領域や使命を明確にし、学会ステートメントとして2015年7月より学会ホームページに公開しています。以下からダウンロードが可能です。

日本糖尿病理学療法学会 学会ステートメント：

<http://jspt.japanpt.or.jp/jsptdm/about/sintyaku5.html>

また、2019年9月に沖縄県で開催する第6回日本糖尿病理学療法学会学術大会においては、“JSPTDM 沖縄表明”と題して「糖尿病理学療法」の定義を発表いたします（予定）。

2. 職能に資するエビデンス研究：糖尿病足病変・糖尿病腎症における理学療法士の関わりの実態調査¹⁾

[調査方法]

日本糖尿病理学療法学会の会員4,680名を対象にWebアンケートを実施しました。

① 「糖尿病足病変」についての結果

理学療法実施率は糖尿病足病変38.2%、下肢慢性創傷36.5%でした。関わりが少ない理由として、「医師の処方がない」が糖尿病足病変75.5%、下肢慢性創傷79.2%でした。全体では7割近くが「理学療法場面で糖尿病足病変、下肢慢性創傷を呈する患者がいない」と回答しました。

[糖尿病理学療法学会としての対策]

- ・本調査結果を論文化し下肢救済学会誌に投稿しました（下記参照）。学術大会でも発表し啓発します。
- ・日本糖尿病学会との連携の下、学会主導での研究を推進して、職能に資するエビデンスを構築し、PTの専門性や存在意義を発信します。

論文発表

題名：下肢慢性創傷の診療にかかわる理学療法士の実態調査

著者：林 久恵，河辺信秀，河野健一，平木幸治，松本大輔，森 耕平，井垣 誠，野村卓生

雑誌：日本下肢救済・足病学会誌10(3):177-183, 2018

② 「糖尿病腎症」についての結果

理学療法実施率は保存期糖尿病腎症（腎症）患者 39.4%、透析患者 49.4%と、腎症に対する関りは低い結果となりました。関わりが少ない理由として、腎症は「医師からの処方が出ない」が 64.0%、透析患者は「患者がいない」が 71.3%でした。糖尿病透析予防指導管理料（350 点）にチームの一員として参加していると回答したのは、4.5%でした。その内、平成 28 年度の診療報酬改定より新設された腎不全期患者指導加算（100 点）を算定していると回答したのは 29.2%でした。

[糖尿病理学療法学会としての対策]

- ・本調査結果を日本糖尿病学会の学会誌に投稿し、医師からの理学療法処方の増加を狙います。
- ・腎症や透析患者に対する理学療法効果を明らかにし、その結果をもとに診療報酬の獲得や理学療法介入の体系化を目指します。

3. 糖尿病足病変にかかわる下肢切断予防にむけた研修事業

日本糖尿病理学療法学会は、糖尿病足病変にかかわる下肢切断を予防するために、全会員に対する足病の発症と増悪の管理に関する知識や技術を教授し、かつ普及させる研修事業を進めています。全国で研修会を開催するために、2017 年度より講師養成研修を開催し、そして養成した講師による協会主催研修会を 2018 年度より開始しました。今後、足病変ならびに下肢切断予防にむけた知識に関する研修会は e-ラーニング化し、より多く、より容易に受講できる環境を整備します。そして、技術に関する研修会は毎年度継続的に開催する予定です。

糖尿病足病変に関わる理学療法研修事業へのリンク：

<http://jspt.japanpt.or.jp/jsptdm/workshop/>

4. 糖尿病理学療法に関するエビデンス構築を目指した研究支援セミナー

日本糖尿病理学療法学会は、糖尿病理学療法に関するエビデンス構築を目指すことを目的に、平成 29 年度より研究支援セミナーを開催しております。今後は、本セミナーに参加された先生方と一緒に大規模多施設共同研究を実施したいと考えております。

<臨床研究概論 編>

日常診療と研究の区別、人を対象として研究を行う場合の倫理指針、倫理指針と個人情報保護との整合性について基礎講義を行います。不正行為、人を対象とした研究を進めるうえでのアウトカムのか考え方、研究データの扱い方等を学修していただきます。また、グループワークを通じて、研究計画の立て方の基礎を学修します。

<統計解析 編>

糖尿病理学療法に関連する論文の読み方、論文で明らかになった結果等を、どのように確認・解釈するかを解説します。また、統計解析の基本的な概要を学修していただきます。お手持ちのパソコンで無料統計ソフトを使用し、統計解析のグループワークを行い、統計解析を体験して頂きます。

<臨床研究登録 編>

糖尿病理学療法に関する臨床研究を行う際に必要な手続きの一つである倫理審査, 臨床研究の流れ (研究計画書の作成, 臨床試験登録の方法等) に関して詳細を説明します.

参考文献

- 1) 糖尿病足病変・糖尿病腎症における理学療法士の関わりの実態調査報告書.
http://www.japanpt.or.jp/upload/japanpt/obj/files/chosa/tounyou_houkokusyo_2016.pdf